

利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所
発行人 真庭 拓郎
〒378-0031 沼田市薄根町4412番地
TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180
E-mail : tonekyou@pref.gunma.jp
URL:<http://www.pref.gunma.jp/kvoi/23tone/index.htm>

学校教育グループ

学校(園)でのネットワークセキュリティ及び情報の管理について

平成18年3月8日付の県教育長の通知、利根教育事務所長の通知に基づき、情報管理の徹底に努めていただいているところでありますが、情報流出等の未然防止について、再度確認をお願いします。

1 個人情報等の情報管理の徹底を図ること

- ・情報管理について、管理・保管の仕方を各学校で再検討し、流出防止等の徹底を図る必要があります。
- 《例》

- ◇パソコンには、ID(利用者番号)やパスワード(暗証番号)等を設定し、利用者を限定する。
- ◇個人情報等の扱いは、外部と接続しないパソコンに限定する。
- ◇個人情報等は、記録媒体(FD・MO・CD・USBメモリ等)に保存し、ハードディスクに保存しない。
- ◇共有する必要がある個人情報等の扱いは、セキュリティ対策が施されている校内の職員用LANのみとし、ファイル自体に、パスワードを設定して保存する。

2 ファイル共有ソフト(Winny(ウィニー)等)のパソコンへのインストールをしないこと

- ・ファイル共有ソフト(Winny)は、ウイルスに感染しやすく、知らないうちに自分のパソコン内にある情報の流出を引き起こします。過去に一度でもそのパソコンで扱ったことのある情報は、感染により、流出の危険があります。
また、流出した情報は、削除したり取り消したりすることは不可能です。
- ・ファイル共有ソフトには、Winnyの他にも数種類あります。

3 コンピュータや記録媒体(FD・MO・CD・USBメモリ等)による個人情報等の持ち出しをしないこと。

- ・1により厳重に管理しても、個人情報等を持ち出して、安全性の確認のできないパソコンで扱うことは、非常に危険です。また、情報が複数になることでもあり、紛失・漏えい等のリスクが大幅に増加します。

4 インターネットやメール等からのウイルス侵入防止対策の徹底を図ること

- ・私有パソコンは学校のネットワークに接続しない。
- ・最新のDATファイル(ウイルス定義ファイル)を使って、ウイルスチェックを定期的に行う必要があります。

5 コンピュータや記録媒体(FD・MO・CD・USBメモリ等)の廃棄の仕方を徹底すること

- ・画面などで一般的な削除の操作をしても、情報は残ってしまいます。個人情報等が保存されている場合は、削除のための専用ソフトで復元できない状態にするか、物理的に完全に破壊をすることが必要です。

平成18年度 特色ある教育課程の編成・実施に向けて

管内の市町村教育委員会においては、来年度幼・小・中学校において冬季休業日後期(夏季休業日を1週間短縮し、その分を厳冬期の1月下旬～2月に休業日とした)の廃止の方向が示されております。園・学校においては、その意義やねらい等について保護者・地域へ十分な説明をしていくことが大切です。また、次年度の教育課程の編成に向けて、以下のことに留意することが大切です。

◇増加授業時数の有効活用

- ① 自園・自校の教育目標の達成や課題解決に向けて重点化するなど、効果的に活用すること
- ② 増加授業時数と、ねらい・学習内容とを年間指導計画等に明確に位置付け計画的・目的的な活用をすること

授業時数の有効活用の様子から、その園・学校の目指す方向が見取れるような特色ある教育課程の編成・実施が期待されます。冬季休業日後期の見直しが特色ある学校づくりの推進力となり、各園・学校の活性化に機能するものになってほしいと思います。

生涯学習グループ

「学習を希望する親」から「すべての親」の家庭教育支援へ ～『家庭教育推進事業』 子育て講座から～

家庭の教育力の低下や子育ての危機が指摘されています。子供を支える親の中には、子育てについて学ぶ余裕のない親、子育てに関心が低い親、孤立しがちな親など、周囲の支えを必要としている親が多くなります。『家庭教育推進事業』の子育て講座は、このような状況を踏まえ、すべての親に対して行う、家庭教育に関する学習機会です。

今年度は、管内全市町村において、協議会を立ち上げ、「妊娠期子育て講座」「就学時健診等を活用した子育て講座」「思春期子育て講座」等の44講座が開催されています。「就学時健診等を活用した子育て講座」と「思春期子育て講座」は、学校の理解と協力のもとに、主に学校を会場として、すべての親を対象に実施しています。



《参加体験型学習を取り入れた講座》

◇ 講座の工夫

- 旧新治村では、「食の指導に関する実践協力調理場」の群馬県教育委員会指定研究の実践に併せて、食育の大切さを伝える講座を実施しました。
- 沼田家庭教育推進協議会では、今後の講座運営に向けて、内容や形態等についての意見を聞くなど、参加者にアンケート調査を実施しました。
- 対象者が少ない学校では、全保護者や幼稚園の保護者にも呼びかけて実施しました。
- 一方的な講師の講義ではなく、ロールプレイ等を取り入れた参加体験型学習の講座がありました。

◇ 参加者の声

- 学童期における基本的な生活習慣の確立の大切さや、親としてなすべきことを学ぶ機会となりました。
- 思春期を迎える子供に対する親の接し方を勉強できました。親も成長していきたいと思います。
- 改めて親と子の在り方を見つめ直すことができたと思います。自分にも子供の時があったように「親」という枠を越えて、もう一度、一人の人間として向き合いたいと思います。

利根教育事務所では、講師紹介や講座内容等の支援をしていきたいと考えています。本事業の趣旨を御理解の上、御協力をお願いします。